

京成グループ中期経営計画 「E1プラン」の進捗状況について



2012年11月9日
京成電鉄株式会社

目次



「E1プラン」(2011年3月期～2013年3月期)の進捗状況

- | | | |
|----|----------------------|------|
| 1. | E1プラン数値計画達成目標との比較 | …P1 |
| 2. | 鉄道事業の進捗状況 | …P2 |
| 3. | バス事業の進捗状況 | …P7 |
| 4. | タクシー事業の進捗状況 | …P10 |
| 5. | 流通業の進捗状況 | …P12 |
| 6. | 不動産業の進捗状況 | …P13 |
| 7. | 当社グループの事業環境(成田空港の動向) | …P15 |
| 8. | 次期中期経営計画の策定 | …P16 |

E1プラン数値計画達成目標との比較

◇当初予想(5/9付決算短信発表数値)との比較

	2013年3月期				E1プラン目標 2013年3月期
	今回予想	当初予想	増減	増減率	
営業収益	2,452億円	2,442億円	10億円	0.4%	—
営業利益 (営業利益率)	212億円 (8.6%)	214億円 (8.8%)	△2億円 —	△0.9% —	230億円以上 (9%以上)
経常利益	277億円	257億円	20億円	7.8%	220億円以上
当期純利益	184億円	166億円	18億円	10.8%	—
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,939億円 (9.1倍)	3,971億円 (9.2倍)	△32億円 —	△0.8% —	4,100億円以下 (9倍以下)

※ EBITDA倍率=有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

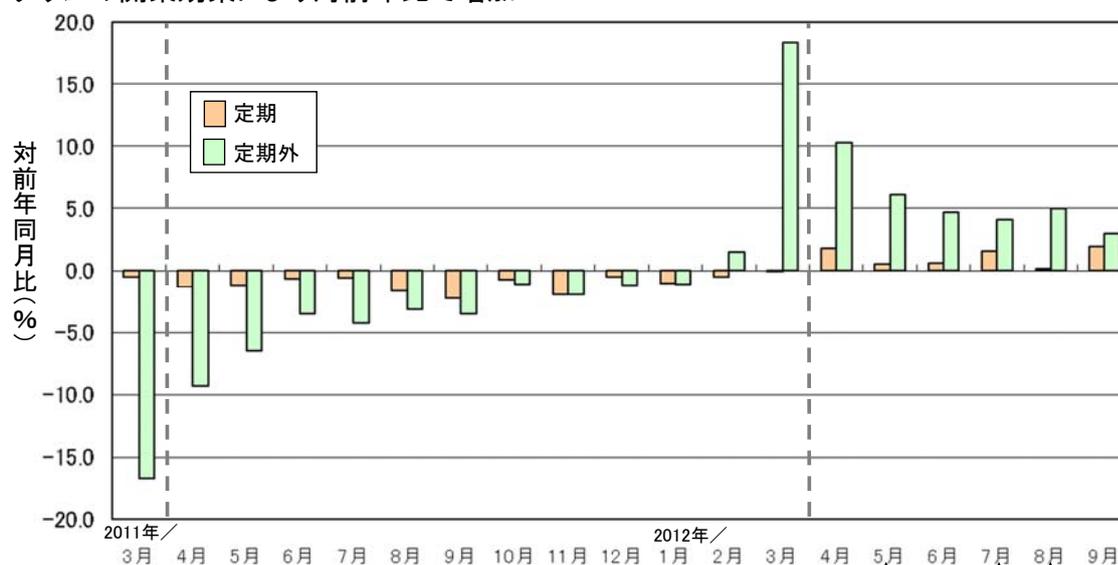
なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます

鉄道事業の進捗状況(1)

◇当社輸送人員(対前年同月比)の月別推移

震災の影響からほぼ回復

2012年3月以降、定期外では震災の反動増に加え、海外旅行者数の増加や東京スカイツリータウンの開業効果により対前年比で増加



東日本大震災発生

東京スカイツリータウン開業

7月・8月 LCC国内線就航

鉄道事業の進捗状況(2)

◇当社鉄道事業第2四半期実績(前年同期実績、当初予想との比較)

空港発着 輸送人員・旅客運輸収入

(単位:千人、百万円)

	2013年3月期		2012年3月期		2013年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減	増減率	当初予想	増減	増減率
輸送人員計	7,587	6,693	894	13.4%	7,504	83	1.1%
旅客運輸収入計	6,781	5,581	1,199	21.5%	6,443	338	5.2%

- ・輸送人員全体に占める空港発着輸送人員の割合は 5.7%(前年同期比+0.5pt)
- ・旅客運輸収入全体に占める空港発着旅客運輸収入の割合は 24.7%(前年同期比+2.9pt)

有料特急 輸送人員・料金収入

(単位:千人、百万円)

	2013年3月期		2012年3月期		2013年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減	増減率	当初予想	増減	増減率
輸送人員計	2,067	1,606	461	28.7%	1,944	123	6.3%
料金収入計	1,971	1,542	428	27.8%	1,814	157	8.7%

※有料特急の数値には空港発着以外の乗降を含みます

輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入及び特急料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

鉄道事業の進捗状況(3)

◇当社鉄道事業 通期予想(前期実績、当初予想との比較)

空港発着 輸送人員・旅客運輸収入

(単位:千人、百万円)

	2013年3月期		2012年3月期		2013年3月期		
	今回予想	実績	増減	増減率	当初予想	増減	増減率
輸送人員計	14,820	13,731	1,089	7.9%	14,843	△23	△0.2%
旅客運輸収入計	13,143	11,727	1,415	12.1%	12,737	406	3.2%

- ・輸送人員全体に占める空港発着輸送人員の割合は 5.7%(前期比+0.3pt)
- ・旅客運輸収入全体に占める空港発着旅客運輸収入の割合は 24.3%(前期比+1.8pt)

有料特急 輸送人員・料金収入

(単位:千人、百万円)

	2013年3月期		2012年3月期		2013年3月期		
	今回予想	実績	増減	増減率	当初予想	増減	増減率
輸送人員計	4,007	3,495	512	14.6%	3,859	148	3.8%
料金収入計	3,825	3,332	492	14.8%	3,608	217	6.0%

※有料特急の数値には空港発着以外の乗降を含みます

輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入及び特急料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

鉄道事業の進捗状況(4)

◇ダイヤ改正(2012年10月21日)

- ・京急蒲田駅付近連続立体交差事業の進捗を受け、大幅なダイヤ改正を実施
- ・成田空港の利用動向に対応した、利便性の高いダイヤを作成

(1) 成田空港早期到着のスカイライナーを設定

(改正前) 上野6時30分発、成田空港7時14分着

(改正後) 上野5時58分発、成田空港6時42分着 従来より**32分**早く成田空港に到着

(2) 需要の高い時間帯の上りスカイライナーを増発

成田空港発14時台、15時台、16時台の上りスカイライナーを約**20分**間隔で運転

(3) アクセス特急の所要時間短縮

日中時間帯のアクセス特急の停車時間等の見直しを実施し、所要時間を短縮

区間		改正前	改正後	短縮時分
下り	押上→成田空港	59分	55分	4分
	羽田空港→成田空港	103分	96分	7分
上り	成田空港→押上	61分	52分	9分
	成田空港→羽田空港	104分	94分	10分

鉄道事業の進捗状況(5)

◇成田空港旅客に対する営業展開

臨時列車の運転(2012年8月1日~31日)

- ・夏季繁忙期に合わせ早朝・深夜の「アクセス特急」を毎日上下各1本運転

ジェットスター・ジャパンと共同でキャンペーンを実施(2012年7月)

- ・ジェットスター・ジャパンの成田空港就航に伴い、プレゼントキャンペーンを実施



京成に乗ってジェットスターで飛ぼうキャンペーン

◇東京スカイツリータウン需要への対応

企画乗車券「下町日和きっぷ」の発売(2011年7月~)

- ・発売以来売上枚数が好調に推移
 - ー京成線の都内エリアが乗り降り自由
 - ーエリア内の文化・商業施設で割引特典付き

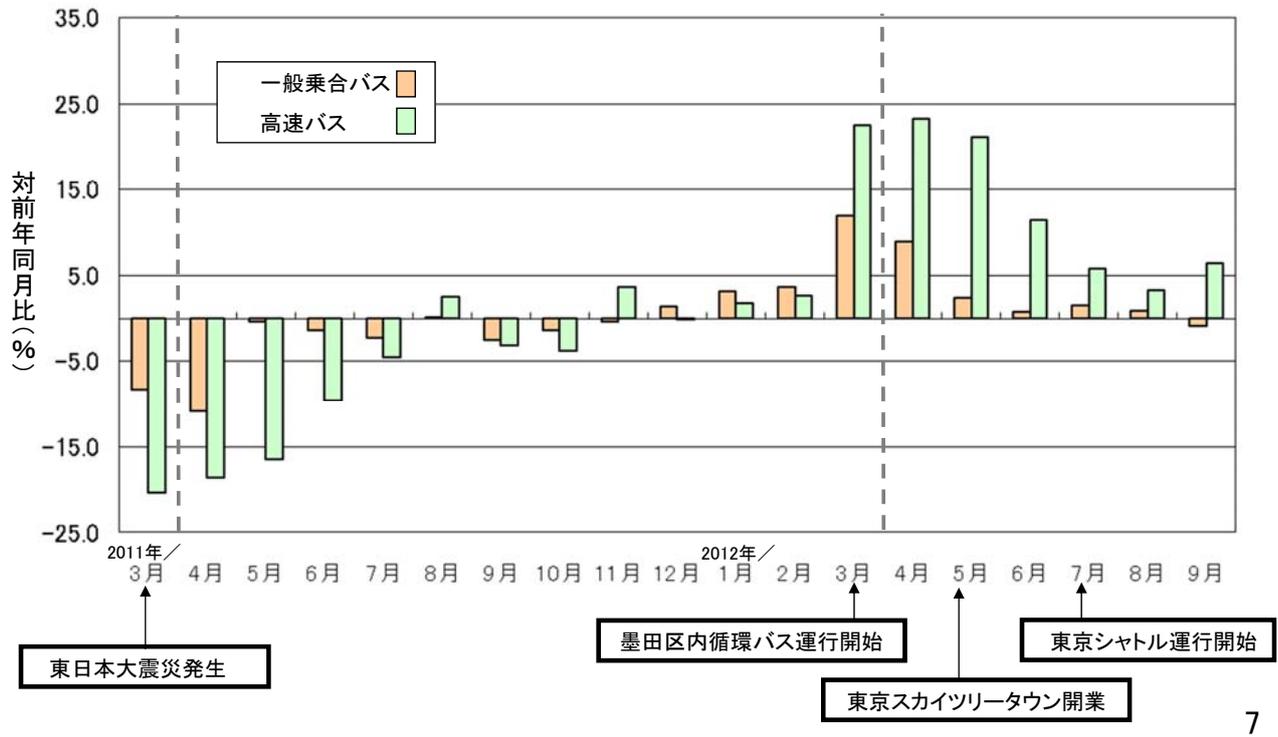


下町日和きっぷ

◇京成バス運送収入(対前年同月比)の月別推移

震災の影響から回復

2012年3月以降は、震災の反動増に加え、新路線の開設などにより対前年比で増加



◇LCC需要への対応(低料金・早朝深夜便の設定)

東京シャトルの運行

<運行区間>

東京駅 ~ 成田空港

<運行便数>

東京駅発 1日19便(1時30分、4時30分~19時30分)

成田空港発 1日23便(7時00分~23時15分)

<運賃(割引運賃「粋割(イキワリ)」>

東京駅発 900円

成田空港発 1,000円

<運行会社(3社)>

京成バス株式会社

成田空港交通株式会社

京成バスシステム株式会社



東京シャトル

<ご参考>

2012年 7月:「デビュープライス」800円、1日30便で運行開始

2012年 8月:運行便数を1日30便から、1日34便へと増便

2012年 9月:運行便数を1日34便から、1日42便へと増便

2012年10月:「デビュープライス」に代わる新たな割引運賃「粋割(イキワリ)」を開始

◇東京スカイツリータウン需要への対応

『高速バス』路線の新設・経路変更

- ・「東京スカイツリータウン～TDR線」新設(2012年5月)
- ・「TDR・上野・横浜～奈良線」東京スカイツリータウン前経由に変更(2012年6月)
- ・「JR土気駅～東京スカイツリータウン前・新宿西口線」新設(2012年8月)

『一般乗合バス』路線の新設・経路変更

- ・「新小岩駅～東京スカイツリータウン前～浅草雷門・寿町線」新設(2012年5月)
- ・「亀有駅～浅草雷門・寿町線」東京スカイツリータウン前経由に変更(2012年5月)

『コミュニティバス』(墨田区内循環バス)の運行

- ・東京スカイツリー(押上駅)を中心に 墨田区内を循環
- ・3ルート運行(うち1両が電気バス)



電気バス すみりんちゃん

タクシー事業の進捗状況(1)

◇東京スカイツリータウン需要への対応

- ・帝都自動車交通では、東京スカイツリータウンの通常乗り場並びにEV・HV専用乗り場への乗り入れ開始(2012年5月)
- ーハイブリッドカー「プリウス」を新たに25両導入(2012年4月)



ハイブリッドタクシー「プリウス」

◇帝都自動車交通におけるお客様サービスの向上

スマートフォン配車システムの構築

- ・お客様がスマートフォンで、タクシーの配車依頼ができるシステムの構築に着手
- ー2013年1月サービス開始予定。今後、当社グループのタクシー会社に拡大へ

法人事業者ランキングで『AA(ダブルエー)』を取得

- ・法人タクシー事業者ランク評価(平成23年度、公益財団法人東京タクシーセンター実施)で、最上位『AA』を取得(2012年6月)

◇デジタル共同無線の導入

- ・電波法関係審査基準改正に伴い、2016年にタクシー無線が完全デジタル化
- ⇒デジタル共同無線を導入し、同一・隣接営業地域内のタクシー会社が共同配車することで、配車効率の向上及び導入・運営コストを削減

〈デジタル共同無線導入済の会社〉(2012年9月末現在)

船橋市を中心とした「京葉地域」15社計284台

船橋交通・市川交通自動車・三田下総交通・舞浜リゾートキャブ・習志野タクシー

「千葉地域」1社計53台

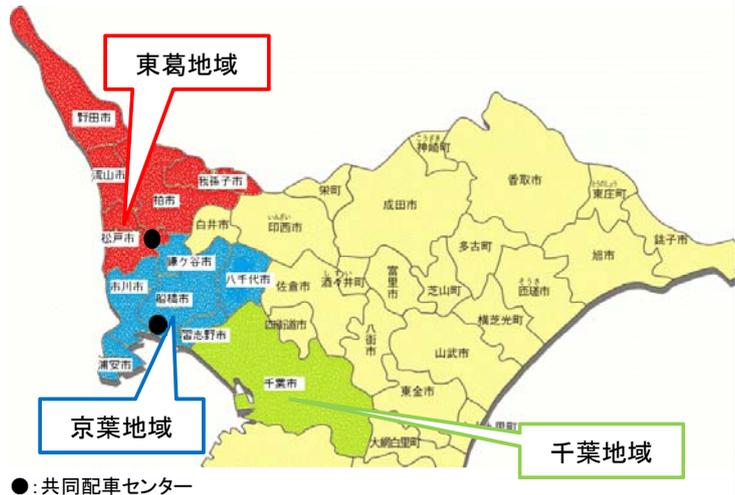
西千葉タクシー

⇒船橋交通に共同配車センターを設置

松戸市を中心とした「東葛地域」13社計141台

合同タクシー・スタータクシー・小金交通

⇒合同タクシーに共同配車センターを設置



流通業の進捗状況

◇リブレ京成店舗 リニューアルの実施

- ・見やすく選びやすい売場の創出と商品提供をコンセプトに、内装・外観を一新
- ー全面リニューアル: 青砥駅前店(2012年5月)、幕張本郷店(2012年9月)
- ーレイアウト変更: 高津店(2012年4月)、大和田店(2012年7月)



リブレ京成 青砥駅前店

◇水戸京成百貨店 特選ブティック売り場をリニューアル(2012年9月)

- ・特選ブティック売り場で、ルイ・ヴィトンの売り場面積を増床

◇京成バラ園芸における営業施策

「『ベルばら』のテラス」を設置(2012年5月)

- ・新品种「ベルサイユのばら」の発売を記念して、ローズガーデンにテラスを設置

『薫乃』のフレグランス発売(2012年5月)

- ・京成バラ園芸が開発したバラの新品种「薫乃(かおるの)」を利用したフレグランス3商品を発売

◇押上本社跡地の活用



<賃貸施設開発>

規 模	地上13階地下1階建
延 床 面 積	約27,000㎡
用 途	商業施設(地下1階～地上2階) 駐車場(地上3・4階) 宿泊施設<約270室>(5階以上)
工 事 着 工	2013年10月予定
賃 貸 開 始	2015年12月予定

◇船橋駅周辺の開発



<高架下賃貸施設開発>

所 在 地	船橋市本町(京成船橋駅高架下)
規 模	平屋建て
延 床 面 積	約500㎡
用 途	飲食店舗・事務所
賃 貸 開 始	2012年10月



<賃貸住宅開発>

所 在 地	船橋市本町(京成船橋駅前西口)
規 模	地上7階建・地上9階建(2棟予定)
延 床 面 積	約3,500㎡
用 途	賃貸住宅
賃 貸 開 始	2013年1月～予定

◇グループ資産の有効活用

京成バス船橋営業所(花輪車庫)活用計画

- ・船橋競馬場駅前の京成バス花輪車庫敷地(約21,000㎡)の有効活用を計画
- ー代替車庫<芝園・栄町・新三山・茜浜>の稼働開始(芝園:2012年8月、その他12月予定)

◇高架下の有効活用

八広駅高架下活用計画

- ・八広駅付近の高架下敷地(約1,400㎡)の有効活用を計画
- ードラッグストア等をテナントとした賃貸施設の建設を予定

四ツ木駅高架下活用計画

- ・四ツ木駅高架下敷地(約600㎡)を、駐輪場として有効活用(2012年11月)

◇住宅開発:沿線活性化に寄与するマンションの分譲

販売総戸数

- ・サングランデ印西牧の原ドアシティ 400戸 【印西市原】(2010年8月～2013年度まで順次竣工予定)
- ・サングランデ亀有親水公園 41戸 【葛飾区亀有】(2012年2月竣工)
- ・サングランデ公津の杜 グレイス 206戸 【成田市公津の杜】(2013年3月竣工予定、全戸完売)

◇成田空港における航空自由化<オープンスカイ>(2013年3月)

- ・2013年夏ダイヤより、オープンスカイ合意に基づく、国際線の路線・運行便数等の設定自由化が実現
- －2012年10月現在、成田空港におけるオープンスカイ合意は18カ国・3地域(国土交通省発表)

◇成田空港にLCC国際線の新路線が就航

『エアアジア・ジャパン』

- ・「成田～ソウル線」(1日1往復)運行開始(2012年10月)
- ・「成田～釜山線」(1日1往復)運行開始(2012年11月予定)

『スクート』(シンガポール航空のLCC子会社)

- ・「成田～台北～シンガポール線」(1日1往復)運行開始(2012年10月)

『ジェットスター・ジャパン』

- ・2013年からアジア路線に就航予定

◇成田空港国内線の拡大

- ・13路線59往復/日(2012年11月現在)←9路線29往復/日(2011年3月)
- －国内線ネットワークの拡大等もあり、2012年8月単月の旅客数は開港以来最高(約329万人)
- ⇒2014年度にLCC専用ターミナルが完成予定

次期中期経営計画の策定

長期経営計画Eプランの第2ステップとして次期中期経営計画『E2プラン』を策定中

◇計画期間 2013年度～2015年度(3ヶ年計画)

◇基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力を強化
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュ・フローを確保し、財務体質を強化
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや、事業提携も視野に入れ、事業基盤を拡充
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化

◇計画期間中に予定される主な事業

- 本八幡A地区再開発事業<本社移転>(2013年度)
- 押上本社跡地開発(2015年度)
- 京成バス船橋営業所(花輪車庫)跡地開発(2015年度)

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。
実際には、様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。